

とよきた

やる気 がんばり 思いやり

学校だより 第8号 R6.12.23

宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホーム - ジェ QR コード
から版でご覧になれます

良いお年を

2024 年も、残すところあと一週間余りとなりました。

最近、朝晩の寒さが一層厳しくなりましたが、子供たちは、休み時間になると元気に外に飛び出し、「トンツンツ」と、ジャンピングボードの軽やかな音を響かせながら縄跳びに挑戦したり、「キャツキャツ」と声を上げながら鬼遊びをしたりと、いつも楽しそうです。

また、授業中は、子供たちの集中して学習に臨む姿や自分の意見や考えを出し合い高め合う姿、タブレットを活用し学びを深める姿が随所に見られ、一人一人の成長の足跡がしっかりと残りました。

12 月 26 日(木)から冬休み(～1 月 7 日)に入ります。子供たちとは、二つの「あ」、「あいさつ」と「安全」を約束し合い、冬休み明けに、また笑顔で再会したいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、健康・安全に留意され、良いお年をお迎えください。



「豊北文化祭」を開催

12 月 7 日(土)、子供たちが心待ちにしていた「豊北文化祭」が開催されました。

開会式は、代表児童による円滑な進行と堂々としたあいさつで、爽やかな幕開けとなりました。

続いて、「チャレンジタイム」では、「絵手紙を楽しもう」「土器づくりに挑戦」「大正琴」「お茶を楽しもう」「楽しい科学遊び」「合気道」の6つの活動の中から児童が挑戦してみたい活動を選び、参加しました。

どの活動も大変魅力的で、子供たちが夢中になって取り組んでいる姿が、各会場で見られました。また、講師の先生方からも、「うなずきながら話を聞いてくれるので活動が進めやすかったです。」「質の高い土器を作ってくれ、遠くから来た甲斐がありました。」「子供たちから元気をもらい若返りました。」など、お褒めの言葉をいただきました。その言葉から、子供たちと講師の先生方が、心と心を通わせながら活動していたことがうかがわれ、嬉しく思いました。



バザーも大盛況でした。この日のために、加藤文化厚生委員長を始め文化厚生委員会の皆様、また、地域の皆様が一年間かけて準備してくださった手作りの品物がお披露目され、一つ一つの品物のクオリティーの高さと値段の安さに「ビックリ！」しました。子供たちも 350 円の予算額でどの品物を買おうかと相当迷っていたようですが、会計を済ませ、手提げバッグやキーホルダー、首飾りなどを見せ合う子供たちは、満面の笑みを浮かべていました。

その間、校庭では、保護者の皆様や「北のおやじ会」の皆様が、駐車場係として働いてくださっていました。

陰で支えてくださっている方々への「感謝の心」をもちながら、「豊北文化祭」を思う存分楽しむことができました。



人権週間 ～自分らしく幸せに～

12 月 9 日(月)～20 日(金)は、豊北小の「人権週間」でした。

12 月 10 日(火)には、「人権集会」を開催。人権教育主任の沼尾教諭の講話では、初めに、「人権とは、だれもが自分らしく幸せに生きる権利」であることを確認し、豊北小をもっと笑顔いっぱいにするために、いじめを起こさないことや「心の信号機」を意識しながら生活することの大切さを伝えました。また、「優しさは優しさと呼び、つながっていく(優しさの連鎖)」との話が、私たちの心に沁みました。子供たちは、今までの生活を振り返りながら真剣に耳を傾けていました。



16 日(月)からは、小貫山琳香実行委員長を始め実行委員会の児童を中心に、「ありがとうの木」の取組がスタート。

毎日、40～50 枚の「ありがとうの葉(言葉)」が、北米桜ポストに投函され、昇降口前に設置された「ありがとうの木」に貼り出されたり、お昼の校内放送で紹介されたりしました。

ある日の校内放送では、実行委員会の児童から「〇〇さんへ いつも仲良くしてくれてありがとう。やさしくしてくれてうれしいよ。これからもよろしくね! 〇〇より」の言葉が紹介されると、贈られた児童はとても嬉しそうで、贈った児童は少しはにかんだ様子でした。そして、「ありがとう」「どういたしまして」と、言葉を交わす二人。二人の絆は、さらに強まったようです。

他にも、心温まるやり取りが、多々見られました。また、「ありがとうの葉」も、日に日に生い茂っていきました。

「ありがとうの木」の成長と共に、子供たちの心も潤いを増していくような、素敵な取組でした。

ようこそ豊北小へ ～ ゆたか幼稚園との交流 ～



11月28日(木), ゆたか幼稚園の年長さんを豊北小にお迎えして, 1・2年生との「あきまつり」交流を行いました。

初めに, 豊北小オリジナルの「ざっくん神輿!」を披露。元気な掛け声が響き渡ると会場の雰囲気が一気に盛り上がり, 緊張気味の子供たちの表情も笑顔に変わりました。

続いて, グループごとに 7 つのお店を回り, 「わくわくまといれ」「さかなつりゲーム」「ボウリング」などの遊びを行いました。

それぞれの遊びは, 年長さんに楽しんでもらおうと, 2 年生が時間をかけ思いを込めて作った「手作りおもちゃ」を使った遊びで, あちらでもこちらでも楽しんでいる様子が見られ, その思いは園児たちに通じていたようでした。



1 年生は, 年長さんと一緒に遊びながら, 「こうするといいよ。」とアドバイスをしたりお世話をしたりして, お兄さんお姉さんぶりを発揮していました。

あっという間の 2 時間が過ぎ, お別れの時が…。幼稚園バスを見送りながら, いつまでも手を振り続ける子供たちの姿に, 活動の充実ぶりがうかがえました。

また来年も, かわいい弟妹たちを, 豊北小のみなさんでお待ちしています!



電気で明かりをつけよう!

12月16日(月), 3年生「理科」の研究授業を行いました。

本時の学習課題は, 「どんなものが電気を通すのかな?」です。

子供たちは, ハサミやチェーン, 缶バッジや安全ピンなど, 家庭にあるもので電気を通そうなものを持ち寄り, 実験開始。身近なもの, 自分で調べたいものを持ってきた子供たちは, 次々と試してみても「あっ, 点いた!」「あれっ, 点かないなあ。」と, 一喜一憂の様子です。

ハサミを使っただけの実験では, 点く(電気を通す)ハサミと点かない(電気を通さない)ハサミがあり, ハサミを見比べながら白熱の議論に…。そこには, 主体的に学ぶ子供たちの姿が在りました。

また, 実験の結果はタブレットを使い, フィグジャムで共有。すべての班の実験結果を一括し, 比較・検証ができました。

最後は, 鉄やアルミニウムなど, 電気を通す金属を使って, クリスマスツリーに明かりを点灯。その瞬間, 大きな歓声が沸き上がりました。一人一人の学びが深まった研究授業でした。



おはなし宅急便

12月20日(金)は, 「おはなし宅急便」による「第10回 おはなし会」が開かれました。

各教室をそっとのぞかせてもらうと, 手遊びや読み聞かせ, 素話が展開されていました。

4年生の教室では, 「びんぼうがみとふくのかみ」(いもとようこ 作・絵)の, 以下, 楽しいお話。

貧乏だから不幸せとは限らない。お金持ちだから幸せとも限らない。

貧乏だけど働き者の夫婦。貧乏神は, 二人の働きぶりに家を出ていこうとします。でも, 百年もの間住み着き, 出て行きたくないと泣く貧乏神を追い出すのは気の毒に思い, 二人は大切にもてなすことにします。やがて, 福の神がやってきますが, 何と! 夫婦は貧乏神と力を合わせて, 福の神を追い出してしまいます。

常識とは反対の意外な結末に, 子供たちは目を丸くしていました。

その他, どの教室でも, 発達段階に合った楽しいお話に, 子供たちは, 様々な表情を見せながら興味津々に聞き入っていました。

楽しさや発見, 感動が, 子供たちの心を耕し豊かにしてくれています。



ミシンでスイスイ!

11月15日(金)と12月13日(金)の二回に渡り, 家庭科のミシンを使った学習のため, 地域学校協働活動推進員の高橋様, 室井様始め多くの方々が, 支援に来てくださいました。

一回目は, 5年生の「ランチョンマットづくり」, 二回目は6年生の「トートバッグづくり」です。

5年生になって初めてミシンを使い始めた子供たちは, 不慣れな様子でしたが, ボランティアの方が各グループに入り, 丁寧かつ親切にミシンの操作の仕方を教え補助して下さるので, 安心して作業を進めることができました。そして, 時間内にしっかりとランチョンマットを仕上げることができました。



また, 二年目となる6年生も, 久々のミシンの扱いに戸惑い気味でしたが, この日は12名の方々に来ていただき, 児童二人に一人の割合で支援していただけたことが奏功。こちらも, 短時間で素敵なトートバッグを仕上げ, 子供たちは嬉しそうに作品を見せ合っていました。

家庭科の裁縫の支援は毎年恒例となっていて, ミシンボランティアの方々のご尽力に, 只々, 感謝です。

